

科目名	家族援助論					単位	2.0
担当教員	井上 薫						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	3	授業番号	

●授業のテーマ

子どもの育ちを保障する家族援助

●到達目標

子どもの育ちを応援する家族及び社会の役割を理解する

●学習内容(授業概要)

子どもの権利条約の理念が定着しつつある中で、子どもを大切な存在として認識し、子どもと家族、コミュニティ、社会がパートナーシップを基盤に子どもの育ちを保障しようとする取り組みが積極的に行われるようになってきた。子どもと家族を支援するためには、家族と社会との関係、家族の構造や機能を理解し、その機能不全の発生の機序と援助方法を学ぶことが必要である。

特に家族についてシステム論の立場から理解し、援助のための基盤となる知識を習得することを目標とする。

なお本科目は、保育士資格課程の指定科目（旧カリ）であり、課程履修生は自覚を持って履修すること。

●学習内容(授業計画)

1. 家族援助論の展望
2. 家族とは
3. 家族理解の基盤（システム論的理解）
4. 家族の歴史的理解（1）ジェノグラムとは
5. 家族の歴史的理解（2）ジェノグラムの書き方
6. 家族の構造的理解（1）エコマップ
7. 家族の構造的理解（2）世代間境界
8. 家族のコミュニケーション論的理解（1）公理
9. 家族のコミュニケーション論的理解（2）行動連鎖
10. 家族の機能不全（1）IP
11. 家族の機能不全（2）全体としての家族
12. 家族援助のための基本的視点（1）総合性
13. 家族援助のための基本的視点（2）強さ、未来志向
14. まとめ
15. 学んだこと

●準備学習・事後学習の内容

準備学習として、事前配布資料を読み、キーワード(2語)程度の定義を書いておくこと。事後学習として、配布プリントを復習し、学んだことをプリントに記入すること。

●成績評価方法・基準

各回の報告書（50%）及びレポート試験（50%）により評価を行う。

●テキスト（必携）
随時資料を配布する

●参考文献／その他
授業時指示

●履修上の注意
授業に欠席・遅刻しないこと。各回の報告書は、期末に全て提出することになるので、必ず保管すること。